

立派に仲間入りができました～入学式～

4月11日（木）は、待ちに待った入学式の日です。今年度の新入生は5名。上級生も職員も、ピカピカの1年生と出会うこの日を心待ちにしていました。

朝、おうちの人に手を引かれてきた1年生は、早速教室に上がり、担任の久保田先生と初めての授業となる返事の練習です。

いよいよ入学式。6年生と手をつなぎ、少し緊張した面持ちで体育館に入場した1年生を、上級生や来賓の皆さんが拍手でやさしく迎え、式が始まりました。

私の式辞では、「いつでも どこでも だれとでも、大きな声であいさつすること」「先生目を見てお話をしっかり聴くこと」「夜は早くねること」の3つのお願いをお話しました。1年生は、姿勢よく座り、私の方を向いて最後までしっかりお話を聴いてくれます。

また、新1年生紹介の場面では、久保田先生から呼名され、一人一人が「はい!」ときちんと返事もできています。たくさんの上級生や来賓の方々を前にし、きっと緊張したことでしょう。しかし、教室での練習の成果がしっかり発揮され、大変堂々とした姿ですばらしいものでした。

そして、1年生全員で声を合わせ、「よろしくおねがいします」と上級生に伝え、大田小学校の仲間入りが立派にできた入学式でした。

初めて足を踏み入れる小学校生活に不安がありながらも、大きな期待に胸膨らませ、入学したことでしょう。1年生の子どもたちの好奇心溢れるきらきら輝く眼差しがさらに輝きを増し、心も身体も大きく成長できるよう、教職員一丸となって努めてまいりたいと思います。

入学式前々日の練習で、歌「ドキドキン1年生」の歌詞を完全に覚えていなかった上級生。しかし、家での練習の成果がしっかり発揮され、本番の入学式では、元気な歌声が最後まで体育館に響き渡り、お祝いの気持ちに包まれました。

大田ふるさとづくり協議会から、新1年生一人一人に、木製のすてきな時計が贈られました



～みんなが楽しいクラスに～

先日、2・3年生の教室（複式）を覗いてみました。その時間は、新学期が始まるにあたり、クラスの係とその取組内容・めあてを決める学活の時間だったようです。係を決めるにあたり、「クラスみんなが楽しく過ごせるために、どんな係があったらよいか」という視点で子どもたちが考えていき、その結果、次のような5つの係が決まったようです。

- ゲームがかり
- 音がくやさんがかり
- 花ぞだてがかり
- クイズがかり
- 工作がかり

その後、どの係に取り組みたいかを個々で決め、係ごとに集まって、活動内容とめあてを相談しながら明確にしていたそうです。

子どもたちが記入用紙を手に、私に見せに来てくれました。クイズがかりの用紙には、「帰りに問題を出して、みんなを楽しくさせる」と記されています。また、音がくがかりの用紙には、「帰りの会の時に歌をかけて、みんなを笑顔にする」と書かれています。

クラスみんなが楽しく過ごせるようにしようという子どもたちの素直で熱い思いがひしひしと伝わり、胸いっぱいになります。そして、このようなすばらしい子どもたちがいる本校です。

子どもたちのそんな思いを大事にし、そして、子どもたちを信じ、任せ、待つ姿勢を忘れず、子どもたちが主役となり楽しい学級づくりが進められるよう、支えてまいりたいと思います。